

平成 27 年度すみだの力応援基金助成事業一覧

| | 【団体名】事業名 | 事業内容の概要 | 助成金額（円） |
|---|---|--|---------|
| 1 | <p>【一寺言問を防災のまちにする会】</p> <p>地域内の多様団体との協働による防災学習ワークショップ&シンポジウム</p> | <p>地区内の小学校児童とその親を主対象とし、阪神淡路大震災の被災者の体験による、イザという時に本当に必要な技術や知識を学ぶ体験型の防災学習ワークショップを開催する。</p> <p>また、地域内の多様な団体関係者（商店会や建設業関係者、福祉団体等）と、これから地域住民が主体となって担っていくべき防災や福祉等活動の展望や連携体制について、意見交換を行うシンポジウムを開催する。</p> | 180,000 |
| 2 | <p>【スミダSGEP】</p> <p>後世に伝えるための戦後70年事業 - 東京大空襲体験者の想いとともに -</p> | <p>東京大空襲を体験された墨田区在住の方々に体験談を語っていただき、DVDに記録する。戦後70年を迎えた今、記念事業として行われたことをあわせて取材し記録に残す。それをもとに、ワークショップ形式で区民の方々に見ていただき「聴き語る」という交流を通してお互いがわかりあえる場を提供する。</p> | 200,000 |
| 3 | <p>【特定非営利活動法人マイフェイス・マイスタイル】</p> <p>「見た目問題」スタディツアー</p> | <p>区内2カ所で「見た目問題」写真展を開催。その際、準備段階から地域みなさんに参加してもらい、「見た目問題」への理解を深めると共に、「見た目問題」当事者と地域住民とのつながりを構築する。</p> <p>また、写真モデルとなっている当事者がガイドとなり、写真の説明やモデルになった体験などを交え、「見た目問題」をわかりやすく解説するスタディツアーも実施する。</p> | 250,000 |
| 4 | <p>【特定非営利活動法人地域コミュニティ研究所 CicoLavo】</p> <p>マチナカデミア「スクラッチクラブ」(仮)</p> | <p>主に小中学生を対象とし、マサチューセッツ工科大が作成したプログラミング学習ツール「スクラッチ」などを用いたプログラミング学習を、「クラブ活動」の様に行う場を創出する。(かつての「そるばん教室」の様なイメージ)</p> | 193,000 |

| | 【団体名】事業名 | 事業内容の概要 | 助成金額（円） |
|---------|---|---|-----------|
| 5 | <p>【傾聴ボランティア「きき耳すみだ」】 すみだの高齢社会を支える人づくり（傾聴研修）事業</p> | <p>傾聴に興味・関心のある方を対象に、情報提供を行うため、高齢者施設を会場としたイベントを開催する。高齢者施設の見学や、講師による傾聴ミニ講座により、参加者の知りたいことや不安等に対応する。</p> <p>さらに、傾聴ボランティア活動を実践したい人のための研修講座を開催します。専門家による講義、グループ討議やロールプレイを通じて実践的なスキル獲得につなげる。</p> | 81,000 |
| 6 | <p>【特定非営利活動法人THOUSAND-PORT】 外国人観光客を高校の文化祭でお・も・て・な・し</p> | <p>外国人観光客を区内の「高校の文化祭」に招致し、日本の文化祭を「体感」してもらう。</p> <p>受け入れ担当の高校生には、そのための「ガイドプラン」作成と、文化祭当日の「ガイド」を担ってもらう。</p> <p>NPOでは、ガイドプラン作成の為にファシリテーションと、当日ガイドのサポートを行う。</p> | 148,000 |
| 7 | <p>【NPO法人 燃えない壊れないまち・すみだ支援隊】 ふじのきさん家 ななめの関係・居場所づくり事業</p> | <p>親子 de コミュニティ・キッチン</p> <p>未就学児を持つ親子が知り合い、つながる場づくりとして、料理をつくる共同作業、リトミック、歌、読み聞かせなどを行い、楽しいひと時をすごす。</p> <p>ふじのきさん家のあそび場、まなび場</p> <p>小中学生がものづくりやお菓子作りを通じてまちの大人と交流し、学び、一緒に取り組むことで、安全・安心な居場所づくりを行う。</p> | 250,000 |
| 助 成 総 額 | | | 1,302,000 |